

名前：

もうこの世にはインターネットが普及し過  
ぎてこれからは紙など必要ないかと思われ  
るくらいだ。私も家で新聞を読まがインタ-ネ  
ットのニュースを見ることが多い。それにイ  
ンタ-ネットニュースは速いこともあるしい  
ろいろなれりろいの新聞を集めて見ることか  
できるのど右翼の考方も左翼考方も一場で読  
める長所がある。だが私はこの世に<sup>お</sup>く<sup>れ</sup>た<sup>と</sup>  
言われるかも知れないけど新聞や雑誌は必要  
だし読むべきだと思う。紙に<sup>お</sup>く<sup>れ</sup>た<sup>と</sup>読み  
ものを手にするのはまるで映画なんかを家で  
インターネットでダウンロードしてパソコン  
で見れるのにわざわざ映画館まで行き、感動  
を感じようとするのと同じだと思う。新聞や  
雑誌または本はただの紙の上に印刷されてい  
る字の並びではないと思う。記事の順番や  
その位置は<sup>記事</sup>の乗っている新聞社の性向を  
読めるいしるしになる。それに雑誌<sup>の</sup>印刷  
された紙を見て雑誌に乗っている品物の質を  
感じれるような気もある。本だって文字だけ

では~~え~~えな、分団気を紙で話せる場合もあ  
る。この、インターネットが私たちの生活の  
ほとんどを支えている時代にも人々はまだ  
本屋でいろいろな気持をを読み、感じている  
のにはそれなりの気持をがあるからに<sup>あ</sup>ら<sup>い</sup>  
ない。私はインターネットを通じてパソコンの  
画面で見られる文字の集まりで読み取れるこ  
とより、もっと大切な心に伝えてくるその感じ  
を紙からだけで感れるからだと思う。い。  
ある人はもう本屋も電字ブック<sup>が</sup>初めたら  
なくなるだろうと言うが、私はそんなことは  
ないと思っている。一時其電字ブックの時代  
が来たとしてもインターネットやパソコン<sup>は</sup>  
絶対伝うことができない、紙を巡りながらその  
内容をたっぷりと感じ取る<sup>気持</sup>は読むことに  
なっている幸せだからだ。私はいくらイ  
ンタネットが発達しても小さい時昔話を読み  
ながら感じたその幸せを私たちにいっも伝え  
てくれる紙の印刷物はこの人数がなくなるま  
で必要だと思う。